

災害が 起きる前から 復興に備える

～ 災害後も住み続けられるまちとは～

あらかじめ、「大災害の被害を想定し、被害を最小限に抑える都市計画やまちづくりを推進しておくこと」を事前復興と言います。

これまで、多くの被災地では、大地震における地震や山崩れ、水害が発生すると、

一時的な人口流出のほかが復興の遅れが原因でそのまま人が戻ってこないなど、自治体にとってばかりか、市民生活に大きな痛手となっています。

そのため、被害想定の大い地域では、自治体と地域住民が協力し、事前に復興を話し合い、復興計画を立て実際に行動に移す動きが始まっています。

静岡県では、富士市が率先して「富士市事前都市復興計画」を進めています。

市民は何に取り組み、行政とともにどう進めていくのか、考えてみましょう。

2022年4月23日(土)
10:00～11:30 (受付9:45～)

申込

● ホームページの申込みフォーム
右記のQRコードより
※締切後、抽選結果をメールにてお知らせします。



● 往復はがき郵送 (4月15日(金) 必着)
以下内容を往復はがきにご記入の上、当センターまでご郵送ください。
宛先: 〒430-0941 浜松市中区山下町192番地
①参加者氏名 ②年代 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号
※締切後、抽選結果をはがきにてお知らせいたします

講師 富士市都市整備部都市計画課 職員

場所 浜松市防災学習センター 3F 講座室
浜松市中区山下町192 (無料駐車場あり)

対象 どなたでも

定員 40名 (応募多数の場合、抽選)

締切 2022年4月15日(金)

参加
無料
(要予約)

往復はがきの書き方

【返信面】

参加者住所 参加者氏名	①参加者氏名 ②ご年代 ③郵便番号 ④ご住所 ⑤電話番号
----------------	--

【往信面】

防災センター の住所	この面には 何も 書かないで ください
---------------	------------------------------